

■ 芦屋市外国人市民意識調査 アンケート調査結果概要

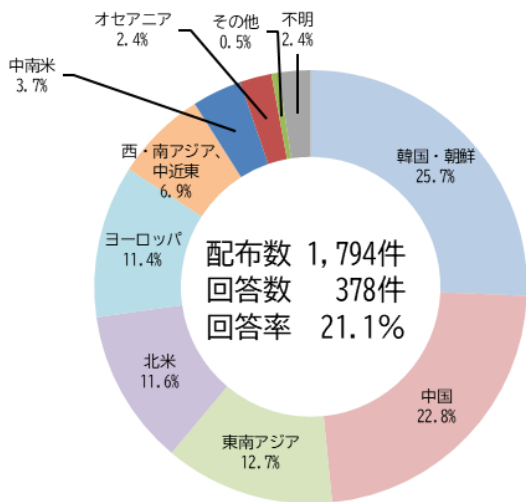
【目的】

芦屋市在住の外国人市民の『日本語能力』『生活』『防災』について、現在の意識・状況を調査し、今後の芦屋市外国人施策について分析、検討しました。

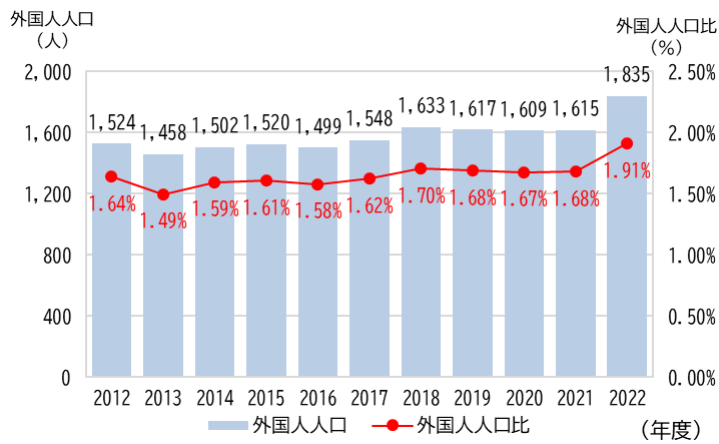
【回答状況】

○国籍・地域別

< 国籍・地域別 回答状況 >



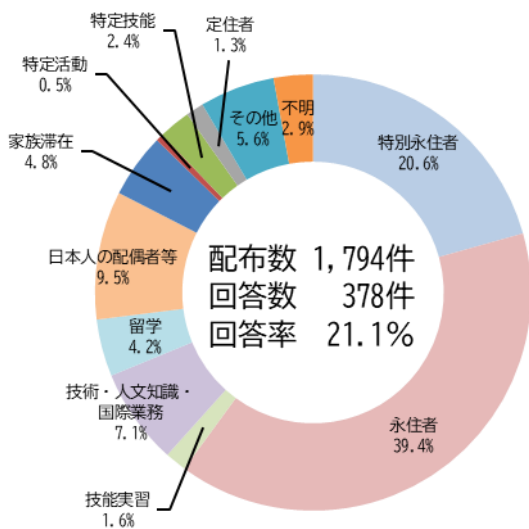
< 外国人人口 及び 外国人人口比の推移 >



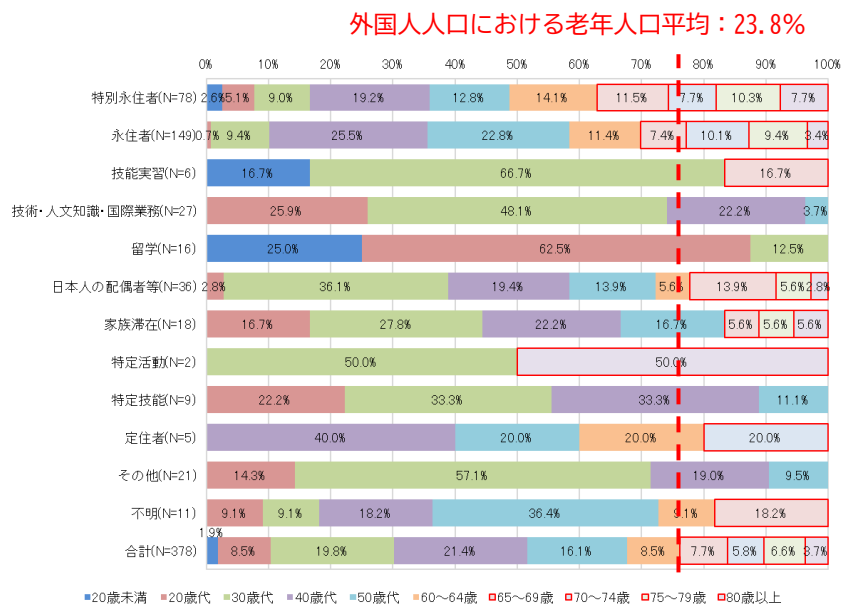
- ・幅広い国籍（39 か国）の方から回答を頂いており、特に「韓国・朝鮮」「中国」で約半数となっています。
- ・芦屋市では、外国人人口及び外国人人口比率も増加傾向にあり、使用言語や文化・習俗・考え方も多様化する中で、外国人施策もアップデートを図る必要があります。

○年代別・在留資格別回答状況

< 在留資格別 回答状況 >



< 在留資格別 年代 回答状況 >



- ・在留資格別に見ると、「永住者」が全体の約4割、「特別永住者」が全体の約2割を占めています。
- ・年代別に見ると、外国人人口の高齢化率は約2割となっていますが、一部在留資格（特別永住者・永住者等）では高齢化率が高い傾向が見られます。

■ 芦屋市外国人市民意識調査 アンケート調査結果概要

● 芦屋市在住外国人の日本語能力について

- ・「日本語能力に不安がある」と回答している方は回答者全体の約3割【129人÷（129人+249人）÷34.1%】を占めており、国籍・在留資格を問わず「読む」「書く」能力に不安があると回答した方が多くなっています。
- ・日本語能力の学び方では、大学・日本語学校などの専門機関で学んだ経験がある方ほど日本語能力に不安がなく、独学や地域の日本語教室などで学んだ方は日本語能力に不安がある傾向が見られます。
- 日本語能力に不安があり、かつ日本語教室で学びたい方に対し、ニーズの高い言語分野（「読み」「書き」）や国籍・地域（ヨーロッパ・東南アジア・中南米等）時間帯（平日 午前）に応じた日本語教室の開催・拡充が求められます。

< 国籍別 日本語能力に対する不安 >

	日本語能力に不安がある					不安はない
	聞く	話す	読む	書く	全体	
韓国・朝鮮	12.5%	62.5%	50.0%	75.0%	8.2%	91.8%
中国	50.0%	75.0%	56.3%	87.5%	18.6%	81.4%
北米	36.4%	36.4%	77.3%	90.9%	50.0%	50.0%
ヨーロッパ	29.6%	37.0%	81.5%	88.9%	62.8%	37.2%
オセアニア	50.0%	75.0%	75.0%	75.0%	44.4%	55.6%
東南アジア	48.0%	52.0%	92.0%	76.0%	52.1%	47.9%
中南米	22.2%	33.3%	88.9%	100.0%	64.3%	35.7%
西・南アジア、中近東	41.7%	41.7%	100.0%	75.0%	46.2%	53.8%
その他	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%
不明	20.0%	20.0%	100.0%	100.0%	55.6%	44.4%
合計	36.4%	47.3%	80.6%	85.3%	34.1%	65.9%

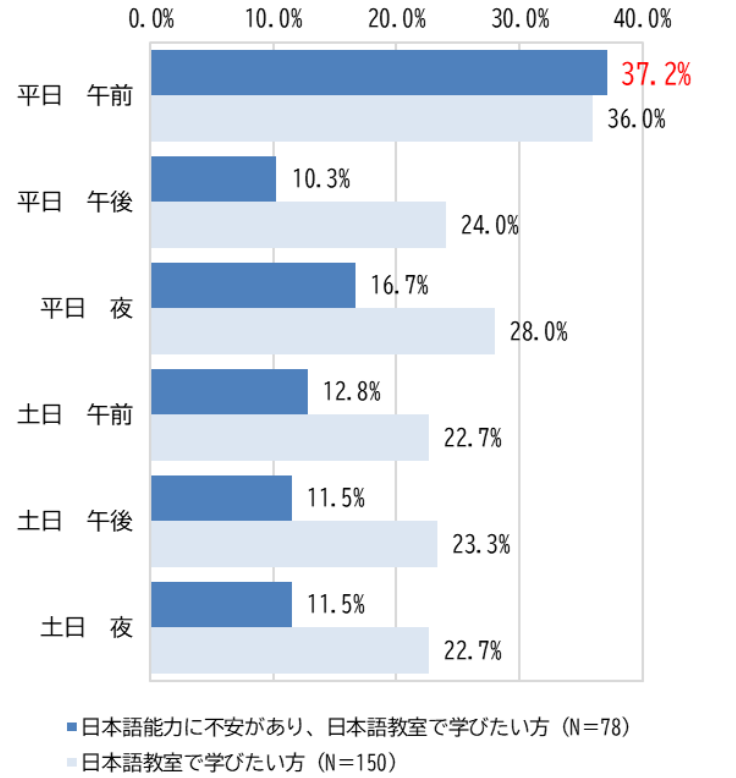
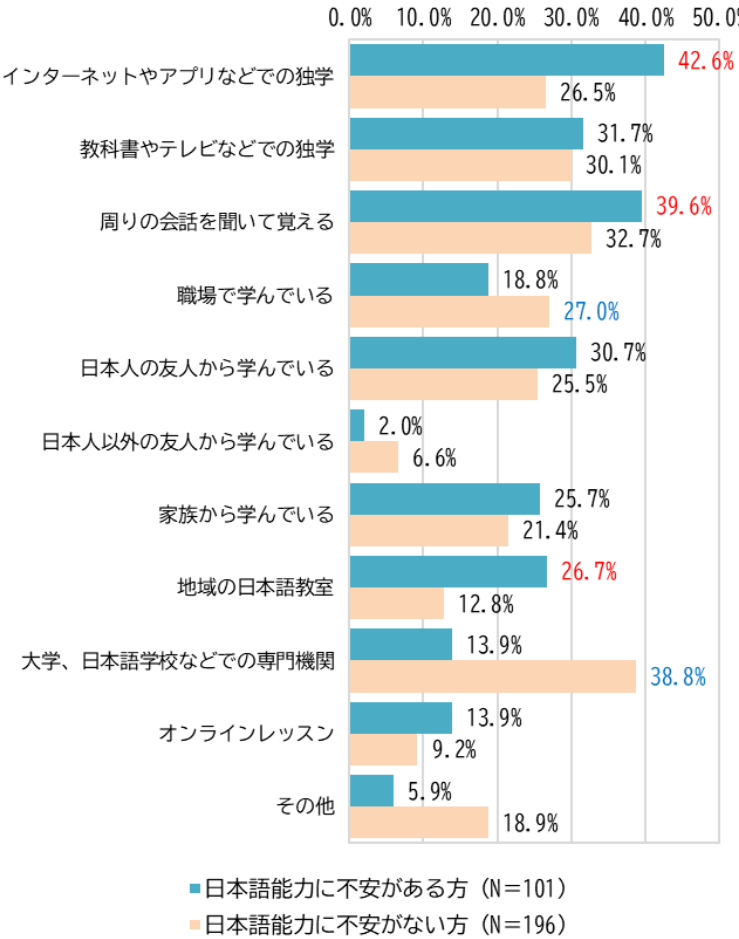
■ 「日本語能力に不安がある」と回答の多かった能力分野（聞く・話す・読む・書く）の回答構成比
■ 「日本語能力に不安がある」「不安はない」の回答構成比
※各項目の数字は回答数を示す

< 在留資格別 日本語能力に対する不安 >

	日本語能力に不安がある					不安はない
	聞く	話す	読む	書く	全体	
特別永住者	0.0%	25.0%	75.0%	75.0%	5.1%	94.9%
永住者	15.0%	30.0%	73.3%	88.3%	40.3%	59.7%
技能実習	0.0%	0.0%	100.0%	83.3%	50.0%	50.0%
技術・人文知識・国際業務	66.7%	75.0%	91.7%	91.7%	44.4%	55.6%
留学	20.0%	40.0%	80.0%	40.0%	31.3%	68.8%
日本人の配偶者等	53.3%	53.3%	93.3%	80.0%	41.7%	58.3%
家族滞在	91.7%	100.0%	83.3%	91.7%	66.7%	33.3%
特定活動	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%
特定技能	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	22.2%	77.8%
定住者	33.3%	33.3%	66.7%	100.0%	60.0%	40.0%
その他	88.9%	77.8%	88.9%	88.9%	42.9%	57.1%
不明	0.0%	33.3%	100.0%	100.0%	27.3%	72.7%
合計	36.4%	47.3%	80.6%	85.3%	34.1%	65.9%

	「不安がある」と回答した方が多い項目
国籍・地域	ヨーロッパ、東南アジア、中南米
在留資格	家族滞在

< 日本語能力に対する不安の有無別 日本語の学び方 > < 日本語能力に不安がある方の日本語教室 参加希望日 >



■ 芦屋市外国人市民意識調査 アンケート調査結果概要

● 芦屋市在住外国人の生活での困りごとについて

- ・「芦屋市で生活するために不安なこと」について、「学校」「保育所・幼稚園」「ごみの捨て方」などの教育・生活での不安が多くなっており、全体で約8割【292人÷（292人+86人÷77.2%）】が不安を感じています。
- ・困った時の相談先は、「家族」「友人・知人」が多くなっています。また、「芦屋市内に家族・友人がいない方」は「芦屋市内に家族・友人がいる方」と比べて「相談先がない」が大幅に増加しており、緊急時・災害時には誰にも相談できないことで、より危機的な状況になることが考えられます。
- 生活する上で不安なことを相談できる「多言語相談窓口」等の行政支援の拡充や、学校・幼稚園等の不安や地域生活上の不安についても気兼ねなく相談できるような「外国人市民の交流の場」の創出が求められています。

< 国籍別 芦屋市で生活するために不安なこと >

	生活に不安がある											不安はない
	ごみの捨て方	日本語の学習	保育所・幼稚園	学校	病院	災害	お金	仕事	近所付き合い	その他	全体	
韓国・朝鮮	33.9%	4.8%	30.6%	43.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	3.2%	63.9%	36.1%
中国	26.4%	2.8%	34.7%	55.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	83.7%	16.3%
北米	19.4%	5.6%	33.3%	41.7%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	81.8%	18.2%
ヨーロッパ	15.6%	15.6%	40.6%	40.6%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	74.4%	25.6%
オセアニア	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%
東南アジア	14.9%	6.4%	36.2%	34.0%	2.1%	2.1%	2.1%	0.0%	2.1%	0.0%	97.9%	2.1%
中南米	0.0%	0.0%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	42.9%
西・南アジア、中近東	31.8%	18.2%	63.6%	13.6%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	84.6%	15.4%
その他	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	80.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	55.6%	44.4%
合計	22.6%	6.8%	38.4%	42.1%	2.1%	0.3%	0.3%	0.0%	2.4%	1.4%	77.2%	22.8%

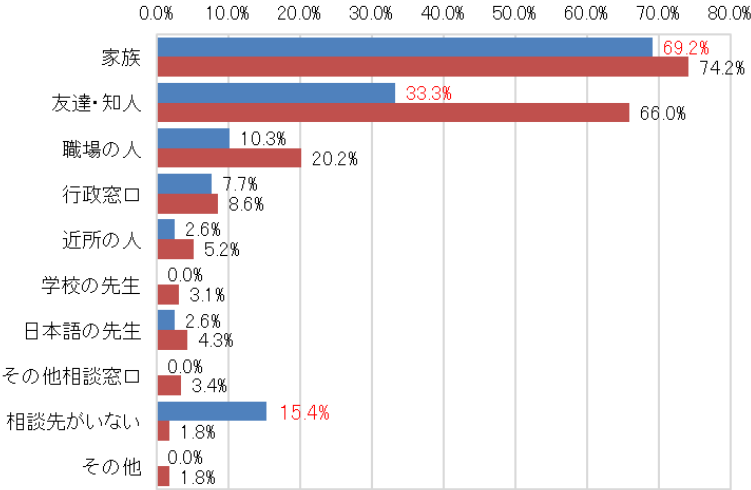
< 在留資格別 芦屋市で生活するために不安なこと >

	生活に不安がある											不安はない
	ごみの捨て方	日本語の学習	保育所・幼稚園	学校	病院	災害	お金	仕事	近所付き合い	その他	全体	
特別永住者	34.0%	0.0%	29.8%	42.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	4.3%	60.3%	39.7%
永住者	18.3%	2.5%	35.8%	46.7%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.7%	80.5%	19.5%
技能実習	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
技術・人文知識・国際業務	38.5%	15.4%	26.9%	26.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	96.3%	3.7%
留学	7.1%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.5%	12.5%
日本人の配偶者等	13.8%	13.8%	34.5%	34.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	80.6%	19.4%
家族滞在	33.3%	20.0%	26.7%	40.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%
特定活動	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
特定技能	14.3%	0.0%	85.7%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	77.8%	22.2%
定住者	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	20.0%
その他	13.3%	13.3%	53.3%	60.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	28.6%
不明	50.0%	37.5%	50.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	72.7%	27.3%
合計	22.6%	6.8%	38.4%	42.1%	2.1%	0.3%	0.3%	0.0%	2.4%	1.4%	77.2%	22.8%

■ 「生活に不安がある」と回答の多かった項目の回答構成比
■ 「生活に不安がある」「不安はない」の回答構成比
※各項目の数字は回答数を示す

< 芦屋市で生活するために不安なこと（上位3位） > < 芦屋市内の家族・友人の有無別 困った時の相談先 >

項目	回答数	構成比
1. 学校	123 件	42.1%
2. 保育所・幼稚園	112 件	38.4%
3. ごみの捨て方	66 件	22.6%



■ 芦屋市内に家族・友人がいない方 ■ 芦屋市内に家族・友人がいる方

< 不安なことが多い国籍・地域、在留資格 >

分類	不安なことが多い分類	構成比
国籍・地域	東南アジア	97.9%
	西・南アジア、中近東	84.6%
	中国	83.7%
在留資格	技術・人文知識・国際業務	96.3%
	留学	87.5%
	家族滞在	83.3%

※回答が10件未満の分類は除く
国籍・地域：「オセアニア」「その他」「不明」
在留資格：「技能実習」「特定活動」「特定技能」「定住者」

■ 芦屋市外国人市民意識調査 アンケート調査結果概要

● 芦屋市在住外国人の教育に関する悩み・不安について

- ・「教育に関する悩み・不安」について、すべての国籍・地域で「子育てや教育に必要なお金が高い」「塾や習い事に必要なお金が高い」などの教育資金に関する回答が多くなっており、全体で約4割以上となっています。
 - ・「東南アジア」「中南米」「西・南アジア、中近東」の方は、教育についての悩みや不安が多岐に渡っています。
 - ・「韓国・朝鮮」「オセアニア」「北米」では、他の国の方と比べて、教育に関する悩みや不安は少ないものの、「オセアニア」の方は保育や学校の慣習、進路について子どもと意見が合わないことに対する悩みや不安が多く、「北米」の方は子育てや教育の仕組み、仲間外れやいじめ、母語や母国の文化を勉強できないことなどに対する悩みや不安が見られます。
 - ・「中国」「ヨーロッパ」の方は、勉強を教えられない。授業内容が理解できないか心配、母語や母国の文化を勉強できない、保育や学校の慣習。受験や進学についての悩みや不安が多く見られます。
 - ・「中国」の方では、相談できる人や場所が分からない、子育てや教育の仕組みがわからないも比較的多くなっています。
- 教育に関する悩み・不安は国籍・地域ごとに違いがあり、**各国の文化や考え方に合わせた情報発信体制の整備**や**相談先の拡充**、**母語や母国の文化を学習・共有できる環境の確保等**の取り組みが求められています。

< 国籍別 教育に関する悩み・不安 >

設問		韓国・朝鮮	中国	北米	ヨーロッパ	オセアニア	東南アジア	中南米	西・南アジア、中近東	その他	不明	合計
回答者数		50	50	23	23	6	24	8	7	2	2	195
1	母子健康手帳をもらったが内容がわからない	14.0%	10.0%	4.3%	21.7%	0.0%	29.2%	12.5%	42.9%	0.0%	50.0%	15.4%
2	妊娠中の健康診査を受ける方法がわからない	4.0%	2.0%	0.0%	8.7%	0.0%	16.7%	12.5%	33.3%	0.0%	50.0%	6.7%
3	子どもを産むために病院に行くとき言葉が通じない	4.0%	6.0%	0.0%	4.3%	0.0%	25.0%	37.5%	16.7%	0.0%	50.0%	8.8%
4	子どもの健康診断や予防接種を受ける方法がわからない	8.2%	10.2%	4.3%	17.4%	0.0%	29.2%	0.0%	57.1%	0.0%	33.3%	13.4%
5	子どもについて相談できる人や場所がわからない	14.3%	22.0%	13.0%	9.1%	0.0%	37.5%	28.6%	42.9%	50.0%	50.0%	20.4%
6	日本の子育てや教育の仕組みがわからない	16.3%	30.0%	26.1%	9.1%	16.7%	78.3%	28.6%	42.9%	50.0%	50.0%	29.8%
7	働くために子どもを預けたいが、どうすればいいかわからない	14.3%	16.3%	8.7%	18.2%	16.7%	34.8%	42.9%	14.3%	50.0%	50.0%	18.9%
8	子育てや教育に必要なお金が高い	44.9%	45.1%	21.7%	39.1%	16.7%	58.3%	42.9%	50.0%	50.0%	50.0%	42.6%
9	幼稚園や保育所、学校に子どもを通わせるための手続きがわからない	4.2%	11.8%	13.0%	4.5%	16.7%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	50.0%	14.7%
10	幼稚園や保育所、学校からの連絡の内容がわからない	6.0%	8.0%	13.0%	4.5%	16.7%	50.0%	14.3%	33.3%	0.0%	50.0%	14.6%
11	先生やほかの親と会話ができない	8.0%	19.6%	13.0%	18.2%	16.7%	37.5%	28.6%	28.6%	0.0%	50.0%	18.6%
12	日本語がわからないため、親として勉強を教えることができない	8.0%	26.0%	13.0%	36.4%	16.7%	62.5%	75.0%	55.6%	0.0%	50.0%	28.6%
13	塾や習い事に必要なお金が高い	58.3%	55.8%	21.7%	47.8%	40.0%	82.6%	57.1%	66.7%	50.0%	50.0%	54.6%
14	子どもが仲間外れになったり、いじめられたりする	12.5%	25.0%	26.1%	17.4%	0.0%	41.7%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%
15	子どもが悪いことをしないか心配だ	16.0%	13.7%	0.0%	4.3%	16.7%	33.3%	0.0%	12.5%	50.0%	50.0%	14.2%
16	子どもが授業の内容を理解できないか心配だ	14.3%	27.5%	8.7%	21.7%	16.7%	45.8%	50.0%	12.5%	50.0%	0.0%	23.5%
17	子どもが母語や母国の文化を勉強することができない	18.4%	40.0%	21.7%	39.1%	16.7%	54.2%	37.5%	25.0%	50.0%	0.0%	32.3%
18	日本の保育や学校の慣習に従うことを求められる	12.2%	23.5%	8.7%	26.1%	40.0%	54.2%	66.7%	50.0%	50.0%	50.0%	26.4%
19	受験や進学の方法がわからない	12.2%	31.4%	17.4%	22.7%	16.7%	66.7%	66.7%	25.0%	0.0%	50.0%	28.5%
20	進路について子どもと意見があわない	12.2%	11.8%	17.4%	13.6%	20.0%	41.7%	0.0%	30.0%	0.0%	50.0%	17.5%
21	子どもが日本語をあまりできないため、高校に入学するための試験に合格することが難しい	8.5%	13.7%	13.0%	13.0%	0.0%	41.7%	28.6%	12.5%	0.0%	50.0%	16.1%

太字：20%以上の項目

■ 芦屋市外国人市民意識調査 アンケート調査結果概要

● 芦屋市在住外国人の防災意識について

- ・取り組んでいる防災対策について、避難所の場所の認知や災害時の持ち出しかばんの準備、消火器の使い方などが多い一方で、「何もしていない」と回答した方が、回答者全体の約15%を占めています。
- ・参加したい災害対策講座は、「災害が不安である」と回答した方は実際の避難経路や地域の連携の確認など、より実践的な防災訓練の実施を希望する傾向が見られます。
- 外国人市民は緊急時に十分なコミュニケーションが確保されないことが危惧されることから、**災害対策について平時より情報発信に取り組むとともに、より実践的な防災訓練の実施が求められます。**

＜ 国籍別 取り組んでいる災害対策 ＞

	何もしていない	避難所の場所を知っている	災害の時のために、食べ物・水・懐中電灯・薬など必要なものをかばんに入れている	災害がおきたらどの道を通って逃げるか家族や友人と相談している	家具が倒れてこないように固定している	消火器の使いかた、ある場所を知っている
韓国・朝鮮	14.1%	69.6%	33.7%	21.7%	21.7%	22.8%
中国	22.4%	65.9%	50.6%	23.5%	29.4%	28.2%
北米	17.1%	65.9%	46.3%	43.9%	41.5%	46.3%
ヨーロッパ	11.6%	55.8%	62.8%	44.2%	41.9%	46.5%
オセアニア	11.1%	33.3%	88.9%	22.2%	11.1%	44.4%
東南アジア	14.6%	54.2%	52.1%	27.1%	16.7%	31.3%
中南米	28.6%	35.7%	57.1%	21.4%	14.3%	21.4%
西・南アジア、中近東	12.0%	52.0%	52.0%	28.0%	28.0%	36.0%
その他	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不明	37.5%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
合計	16.9%	60.5%	48.2%	28.3%	26.7%	31.3%

＜ 在留資格別 取り組んでいる災害対策 ＞

	何もしていない	避難所の場所を知っている	災害の時のために、食べ物・水・懐中電灯・薬など必要なものをかばんに入れている	災害がおきたらどの道を通って逃げるか家族や友人と相談している	家具が倒れてこないように固定している	消火器の使いかた、ある場所を知っている
特別永住者	11.1%	70.8%	36.1%	26.4%	18.1%	23.6%
永住者	19.2%	57.5%	47.9%	25.3%	28.1%	31.5%
技能実習	16.7%	50.0%	66.7%	33.3%	33.3%	50.0%
技術・人文知識・国際業務	22.2%	63.0%	48.1%	33.3%	40.7%	40.7%
留学	0.0%	56.3%	68.8%	37.5%	31.3%	37.5%
日本人の配偶者等	17.6%	55.9%	55.9%	44.1%	29.4%	38.2%
家族滞在	16.7%	66.7%	44.4%	33.3%	27.8%	27.8%
特定活動	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特定技能	11.1%	55.6%	66.7%	22.2%	11.1%	55.6%
定住者	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%
その他	9.5%	66.7%	66.7%	28.6%	33.3%	33.3%
不明	36.4%	54.5%	36.4%	9.1%	27.3%	9.1%
合計	16.9%	60.5%	48.2%	28.3%	26.7%	31.3%

回答の多かった項目の回答構成比
※各項目の数字は回答数を示す

＜ 「何もしていない」が多い国籍・地域、在留資格 ＞ ＜ 災害に対する不安の有無別 参加したい災害対策講座 ＞

分類	「何もしていない」が多い分類	構成比
国籍・地域	中南米	28.6%
	中国	22.4%
	北米	17.1%
在留資格	技術・人文知識・国際業務	22.2%
	永住者	19.2%
	日本人の配偶者等	17.6%

※回答が10件未満の分類は除く
国籍・地域：「オセアニア」「その他」「不明」
在留資格：「技能実習」「特定活動」「特定技能」「定住者」

